

沖縄バスケットボール株式会社とのメディカルパートナー協定の締結について

令和2年9月30日、琉球大学病院において、沖縄バスケットボール株式会社と琉球大学病院とのメディカルパートナー協定締結式を開催しました。

本協定は、本年10月から始まるBリーグ2020-2021シーズンにおいて、本院整形外科所属の医師が琉球ゴールデンキングスのチームドクターを担うこととなり、沖縄バスケットボール株式会社とメディカルパートナー協定を締結する運びとなりました。

本協定の締結により、本院は、琉球ゴールデンキングスへ医療面における支援を行うこととなります。これにより、琉球ゴールデンキングスの医療支援体制が充実し、選手の怪我への迅速な対応と不安の解消が図られ、選手のパフォーマンスの向上が期待されます。

式典では、始めに、西田康太郎整形外科長から、協定締結の概要説明が行われました。

その後に協定の内容が確認され、沖縄バスケットボール株式会社の木村達郎代表取締役社長と本院の大屋祐輔病院長による協定への署名が執り行われました。

協定締結後、木村社長と大屋病院長による協定書のお披露目が行われ、その後、関係者による記念撮影が行われました。



西田整形外科長・教授による説明



締結後に協定書をお披露目する様子 左：木村社長 右：大屋病院長



関係者による記念撮影

左から：鬼村事務部長、東整形外科講師、安永取締役、木村社長、
大屋病院長、西田整形外科長、仲宗根整形外科講師

続いて、沖縄バスケットボール株式会社を代表して、木村社長から挨拶が述べられ、「沖縄をもっと元気にするのに、琉球ゴールデンキングスが元気でなければならない。琉球大学の皆様が琉球ゴールデンキングスを元気にしていただき、好循環により沖縄を元気にしていくという使命で、一緒に取り組んでいきたい」と今後の連携への抱負が述べられました。



木村社長による挨拶

続いて、琉球大学病院を代表し、大屋病院長から挨拶が行われ、「大学病院は1970年に開設し今年50歳を迎えることとなった。これを機に、医学部附属病院も大学病院に名称を変えたが、それはより県民の近くに寄り添いたいという気持ちからである。それが我々の存在意義でもある。沖縄の元気、県民の安心、安全、健康を護っていくというのが我々の気持ちである。今回、病院を上げてメディカルパートナーシップを進めていくが、私ども病院がしっかり選手の健康面、チームの安心安全な運営を支え、選手や会社の皆様には試合に集中していただき、実力をさらに発揮していただくことを願っている」と述べられました。



大屋病院長による挨拶

今後、本院の整形外科の医師がチームドクターとして、琉球ゴールデンキングスの医療面でのサポートを行うこととなります。地域のため、地元の振興のためにも地元プロスポーツの運営の一端を支えてまいります。

琉球大学病院は、地域に寄り添い、沖縄の元気、県民の安心、安全、健康を護り、県民の皆様から愛される病院となるよう日々精進してまいります。